

# くずは

2026. 2. 10  
発行 くずはの家  
〒257-0031 秦野市曾屋 1137  
TEL&FAX 0463(84)7874

## 今月の話題「蟲(むし)たちの糸」

寒風が吹き抜ける中、枝先に付いている枯れ葉がくるくると回っています。主(あるじ)のいないクモの網が枯れ葉とともに残っているのです。

皆さんは自ら出した糸を使って生活している生きものをどれくらいご存じでしょうか? 冒頭に挙げたクモの他にも、チョウやガの仲間などは、この糸で蛹になるために繭を作ったり、移動するための足場として使っています。オオムラサキという蝶の幼虫は、春先、冬眠から覚めると、枝の又になっているところに糸で台座を造り定位(定着)します。そして、葉の展開を待って、台座から糸を吐きながら枝先の葉まで歩いて行き葉を食べ、終わるとまた糸をたどって台座まで戻ってきます。その他にもハチの仲間、アリの仲間なども繭を作ったり、巣を作るために幼虫が糸を出します。日本にはいませんが、南米にいるツムギアリは働きアリが幼虫をくわえて糸を出させ、葉と葉をつなぎ合わせて巨大な巣を作ります。変わったところでは、コロギスというバッタの仲間は、自分の隠れ家を口近くから出す糸で葉を綴り合わせて作ります。アシナガバチの巣は女王蜂や働き蜂が枯れ木をかじってバラバラにした木の繊維(パルプ)と、唾液とを混ぜた物を薄く伸ばした“紙”でできています。その中で育った幼虫は蛹になる際に、口近くから糸を出し巣の口に蓋をします。また、アリも地中の巣の中で仮型の繭を作りその中で蛹になります。石を動かしたときなどその下で、米粒のようなアリの白い繭を見たことがある人もいらっしゃるのではないで

しょうか。

チョウやガ、ハチやアリ以外の昆虫でも繭を作り蛹になる虫がいます。幼虫がアリジゴクであるウスバカゲロウは土の中で砂を糸でつづって丸い繭を作ります。チョウやガのような口(吐糸腺)から糸を出す虫では、絹糸腺という唾液腺が変化した分泌腺で糸が作られますが、お尻から糸を出す虫ではマルピーギ管(腎臓の働きをする器官)という排出器官で糸が作られます。また、ウスバカゲロウに近い仲間のクサカゲロウでは、お尻から出すこの糸は、植物の葉の上で繭を作るほか、産卵した卵を固定するのにも使われます。この卵は“憂曇華(うどんげ)の花”と呼ばれています。(ウスバカゲロウでは、すり鉢状の“蟻地獄”の近くの砂の中に直接産卵するそうです)。木や草などの葉、照明器具の傘などに“憂曇華(うどんげ)の花”が咲いているのを見たことがあるでしょうか? この花は仏教経典によると、3,000年に一度咲くと言われている伝説上の花なのですが、糸の上に卵が付いた物が何十本もくっついていてのを見て、昔の人は“憂曇華(うどんげ)の花”と呼んだのでしょう。寒かった冬が終わり、春の陽光を感じる頃、草や木や様々な生き物が活動を開始します。

これからも自然は思いも付かないような姿を見せてくれると思います。皆さんも自然観察を楽しみましょう。

文: くずはの広場所長 高橋孝洋



憂曇華(うどんげ)の花



### 1/10(土)水辺の野鳥観察~小田原漁港周辺~ (15人)

**参加者の声** ・お天気もよく野鳥もいっぱい見られて大満足でした。毎年参加させてもらっていると年々分かる鳥の種類も増えて詳しくなっていくのが楽しいです。  
・普段身近に見る鳥たちですが、双眼鏡で見るといつもと違った表情が感じられた。とても親近感を持ってました。



### 1/11(日)森のおしごと体験 (親子5組12人)

**参加者の声** ・大人が夢中になってしまいました。今回が一回とこのことなので、また開催される時はぜひ参加したいと思います。  
・おちばのおふるもたのしかったし、まきわりもたのしかったし、ここにきてたいけんしてよかったとおもった。(こども)

## 行事報告

# くずはの家 行事案内

日 時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
2月14日(土) 10:00~11:30	<b>ちびっこあつまれ! ~冬のしぜん~</b> くずはの広場指導員	3~6歳の幼児と 保護者20名	受付中
2月28日(土) 9:30~11:30	<b>くずはの動物見つけ隊 ~痕跡探しにチャレンジ!~</b> えのきの会動物分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名	受付中
3月8日(日) 9:30~10:30	<b>ミニ野鳥観察会</b> えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名	2月15日
3月28日(土) 9:30~11:30	<b>くずはの広場 春のお散歩観察会 ~スプリングエフェメラルを探そう~</b> えのきの会植物分科会・くずはの広場指導員	小学3年生以上 15名	3月1日

### 1/24(土) 冬の野鳥観察 (21人)



**参加者の声** ・皆さんと鳥を見ながらのハイキングは楽しいです。見つけた時の喜びと実際に見る鳥を感動しながら感想を話し合う楽しみを感じました。疑問もすぐに教えてください。鳥を好きになりました。

・ハイタカがみれてよかったです。(こども)



\*\*\*\*\*  
かながわトラストみどり財団の協力による皆様からのご寄付を活用した新規のシカ柵を設置しました。ほたるの道への入り口ではカーテンの開け閉めが必要となります。通過後は必ずお閉めくださいますよう、お願いいたします。

行事へのお申し込み・お問い合わせは  
電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

2月の休館日

2日、9日、12日、16日、24日、25日

3月の休館日

2日、9日、16日、  
23日、24日、30日

メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

## くずはの家のボランティア活動

### 1月の活動

**定例会**: 1回目は、小学生の親子12名をお招きし、「森のおしごと体験」と題して、薪割りや落ち葉掃きなどの活動を一緒に行いました。若いパパママやお子さんたちとの活動は、活気があり楽しかったです。また次回をお楽しみに! 2回目は、もう20年以上も続くこの時期恒例の竹の名札作り。青竹をパカーンと割る音が冬の広場に響いていました。落ち葉掃きや焚き付け用のスギの葉集めもしていただきました。  
**花壇の会**: 家の周りの落ち葉を掃きました。入り口前のエノキの根元にはチョウの幼虫がいるので、崩さないように注意しました。  
**とんぼのせせらぎ**: 水路の落ち葉を掻きだし、水の流れを良くしました。



### ☆これからの活動

定例会: 2/19(木)、3/1(日)、3/19(木)  
花壇の会: 3/6(金)  
とんぼのせせらぎ: 2月はお休みします。

森のおしごと体験に協力

# くずはの広場観察路マップ

2026年2月2日

①～⑬には観察板があります。  
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
  - ▲ 咲き始め
  - 開花
  - ◎ 満開
  - 咲き終わり
  - ◇ 実
  - ◆ 熟した実



## 1月の野鳥

(1月6日～2月2日調べ)

- 1、キジバト
- 2、アオサギ
- 3、ダイサギ
- 4、トビ
- 5、ハイタカ
- 6、ノスリ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、モズ
- 10、ハシボソガラス
- 11、ハシブトガラス
- 12、ヤマガラ
- 13、シジュウカラ
- 14、ヒヨドリ
- 15、ウグイス
- 16、エナガ
- 17、メジロ
- 18、シロハラ
- 19、ツグミ
- 20、ルリビタキ
- 21、ジョウビタキ
- 22、イソヒヨドリ
- 23、キセキレイ



ハイタカ

## 1月の昆虫

- チョウ・ガの仲間**
- クロテンフユシヤク
  - ウスモンフユシヤク
  - シロフユエダシヤク
  - ウスバフユシヤク
  - キリガの仲間
  - ヒモミノガの仲間

- カメムシの仲間**
- クサギカメムシ
  - ヒゲナガサンガメ
  - キマダラカメムシ
  - チュウゴクアミガサハゴロモ(卵)

- その他の仲間**
- オオカマキリ(卵しょう)
  - ムネアカハラビロカマキリ(卵しょう)
  - タマムシ(幼虫)
  - カメノコテントウ(死体)
  - ヒメゲンゴロウ(死体)
  - クロスズメバチ(越冬個体)
  - クロナガアリ



シモバシラ

**くずはの広場トピックス**

**シモバシラの氷の華…1月4日**  
 仕事始めの4日。今年もシモバシラの氷の華が大きく花開きました。薄い氷の十二単(じゅうにひとえ)をまとっているかのような姿にうっとり。初認は初雪が舞った翌日12月28日でした。冬の冷え込んだ朝、暖かくなると消えてしまう氷の芸術。あと何回みることができるでしょうか。くずはの家の前と野草の土手でみることができます。

**ハイタカ降臨…1月14日**  
 ストリームタウンの川原の茂みにタカが降り立ちました！黄色の鋭い眼に曲がったくちばし、白い胸の細かく美しいまだら模様。大きさからハイタカと思われました。近くにいたキセキレイが驚いて飛び上がり、逃げていきました。タカはやがてゆっくりと大きな翼を広げて飛び去りました。



ウスモンフユシヤク